

平成23年度における美里町財政健全化計画の取組状況について

平成19年6月に策定した財政健全化計画の平成23年度の取組状況について、お知らせいたします。

1. 財政指標等について

指標等の名称	健全化計画実施後(目標値)	平成23年度決算数値	健全エリア数値
経常収支比率	90%以下	89.7%	75%未満
起債制限比率	10%未満	9.3%	10%未満
実質公債費比率	18%未満	15.2%	18%未満
将来負担比率	200%以下	89.3%	350%未満
町税の収納率	90%以上	90.1%	

2. 健全化計画実施後(目標値)と平成23年度決算の比較

財政健全化計画は普通(一般)会計について、策定しております。

健全化計画実施後(目標値)と平成23年度決算を比較してみますと別表のようになります。

歳入については、東日本大震災の影響により、課税した額が減少したこともあり、目標値を下回りましたが、地方交付税及び国庫支出金の増額により基金からの繰入金を抑えることができました。町債においては、地方交付税の肩代わりをしている臨時財政対策債の増額や災害援護資金の借入れにより増えました。

歳出については、東日本大震災の対応により、すべての項目で目標値を達成できませんでした。物件費については、震災ごみの廃棄物処理費用が多かったこと、扶助費については、子ども手当、災害住宅応急修理、災害弔慰金などの給付費が多かったこと、公債費については、土地開発公社解散による繰上償還分や土地改良事業(国営かんぱい事業)負担金分の償還が追加されたこと、また災害復旧費として公共施設や道路などの災害復旧工事を行ったことなどが主な要因であります。

東日本大震災の影響により、歳入歳出とも計画を大きく上回る結果となりました。東日本大震災に伴う、復旧、復興関係に伴う歳出については、国県による財政支援により、今後の町の財政運営に大きな影響を及ぼすことはないと考えています。

なお、歳入歳出の差額910,802千円については、そのうち686,051千円は、平成24年度への復旧、復興関係繰越事業の財源となります。

(別表) 財政健全化計画と平成23年度決算の比較(単位:千円)

区 分		平成23年度 財政推計	財政健全化計画 実施後(目標値) ①	平成23年度決算 (繰越分含む)	決算と目標値 との比較 (-①)
歳入	1. 地方税	2,510,354	2,633,354	2,337,737	295,617
	2. 地方譲与税・交付金	582,971	582,971	486,352	96,619
	3. 地方交付税	3,322,253	3,322,253	5,660,210	2,337,957
	4. 分担金・負担金	50,714	50,714	49,438	1,276
	5. 使用料・手数料	154,057	159,057	150,076	8,981
	6. 国庫支出金	323,862	323,862	1,825,338	1,501,476
	7. 県支出金	380,377	380,377	968,158	587,781
	8. 財産収入・寄附金	10,763	12,763	136,896	124,133
	9. 繰入金	0	0	204,315	204,315
	10. 諸収入	125,857	125,857	330,068	204,211
	11. 繰越金	0	0	285,198	285,198
	12. 地方債	567,000	544,000	858,246	314,246
		うち臨時財政対策債	300,000	300,000	514,000
	うち合併特例債	184,100	161,100	129,600	31,500
歳入総額(A)		8,028,208	8,135,208	13,292,032	5,156,824
歳出	1. 人件費	1,962,545	1,884,545	2,064,634	180,089
	2. 物件費	1,134,989	1,039,989	2,574,801	1,534,812
	3. 維持補修費	30,173	100,173	140,565	40,392
	4. 扶助費	520,670	520,670	1,125,442	604,772
	5. 補助費等	1,264,701	1,244,701	1,400,560	155,859
	6. 公債費	1,543,860	1,536,860	1,780,319	243,459
	7. 積立金	0	158,000	547,507	389,507
	8. 投資・出資・貸付金	114,896	114,896	291,999	177,103
	9. 繰出金	1,371,131	1,290,131	1,444,228	154,097
	10. 建設事業費	643,890	143,890	506,346	362,456
	11. 災害復旧費	0	0	504,829	504,829
	12. 失業対策費	0	0	0	0
歳出総額(B)		8,586,855	8,033,855	12,381,230	4,347,375
投資余力(C) = (A) - (B)		558,647	101,353	910,802	809,449

歳入の「」は、目標値を達成できなかったものです。

ただし、地方債は借入金であるため「」となったほうがよいわけで、プラスとなっているのは目標値より借入れが多かったことを表しています。

歳出の「」は目標値を達成したもので、プラスとなっているものは、目標値を達成できなかったものです。積立金については、各種基金への積立てであり、将来に備えての蓄えと言えます。